

(様式2)

令和5年度地域とともにつくる魅力ある県立高等学校支援事業【実施状況報告書】

学校名：宮城県白石高等学校七ヶ宿校

1 テーマ・事業名 A 七ヶ宿町の魅力を生かした学校づくり

2 目的

七ヶ宿町の自然・歴史・文化・伝統を〈学び〉、〈訪問〉し、〈体験〉し、〈交流〉し、〈発信〉することで、七ヶ宿町の魅力を知り地域との連携を深めるとともに、他者と協働し、自ら主体的に地域・社会と関わろうとする態度を養い、思考力・判断力・表現力を育成し、豊かな人間性を養う。


3 組織

教務部・生徒指導部・進路部で各事業を担当し、地域パートナーシップ会議で地域・連携先の関係者より助言や意見をいただく

【連携協力先】

・七ヶ宿町教育委員会（公民館） ・七ヶ宿町ふるさと振興課 ・七ヶ宿町体育協会 ・七ヶ宿スキー場（有限会社はあとリゾート・スキースクール） ・関保育所、いこいの里、ミヤギタノイ 等 町内インターンシップ受け入れ機関・事業所

4 事業内容

NO.	実施項目 (実施時期)	実施状況	成果	今後の課題	評価
1	七ヶ宿町歴史探訪ツアー (5/2)	<p>【ねらい】七ヶ宿町の歴史・文化等を学び、現地を探訪することで、学校の所在する七ヶ宿町の魅力を知り、地域への探究心を高めるとともに、自ら主体的に地域社会に関わろうとする態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・5月2日、七ヶ宿町の歴史と文化財を一日かけてバスで巡る行事～七ヶ宿町歴史探訪ツアーを実施</li><li>・講師 水と歴史の館の元館長で現在七ヶ宿町社会福祉協議会長・湯原地区自治会長の高橋正雄氏</li><li>・事前の1時間の講義と、当日は、七ヶ宿町内12ヶ所を案内していただく</li><li>・白石川の源流といわれる‘鏡清水’→山形県境を歩いて通行→バスで東光寺、湯原城跡→旧湯原小学校の裏山を歩き、たくさんの貴重な文化財が発見</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在、27名在籍生徒のうち、七ヶ宿町在住の生徒がおらず、多くは白石市や柴田町など周辺市町村から、白石経由で町民バスを45分程度乗車し通学している。ぜひ学校の所在している七ヶ宿町に興味と関心をもち、学校に通学することへの意欲を高めてほしいと考えた。学校行事に苦手意識をもつ生徒が多い中、ほとんどの生徒が出席し、年度初めの時期に七ヶ宿町内を回れたことはその後の学校生活に好影響が大きかったと考える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後も継続して取り組みたい行事である。課題としては、バス借り上げ代金が本支援事業費の大部分にあたってしまうこと、また左記の理由からこの実施時期を外したくないが、事業の採択決定の時期との兼ね合いで困難があることが課題である。</li></ul> 	A



されたことや自然の地形や集落が近いことを利用した湯原城跡のお話を伺い、見学→弘海坊の墓、滑津大滝→安藤家→関泉寺

午後は、木地の里横川→不忘平和記念公園→不忘の碑を見学、長老湖→ダム公園ふるさとの碑→水と歴史の館を見学。ダム湖底に沈んだ集落や江戸時代に宿場町として大変多くの人で賑わっていた当時の様子など、多くのことを学び、帰校した。



<生徒の感想より>

・とにかく歴史が深く、滑津大滝が一番驚きました。「熱誠天に通ず大滝を干せば必ず雨が降る」という記事がとても興味深いです。

・湯原宿の湯原城跡がとても気になって跡地に陶器が発見されて、湯原城があった頃はどんなことがあって、何が起こったのかが調べてみたいです。

・七ヶ宿の歴史は深く、ほんと全く知らない事ばかりで魅力がたくさんありました。自然に触れながら七ヶ宿のことをしれて楽しかったです！！もっと七ヶ宿の過去が気になりました。

・私は滑津大滝くらいしか行ったことがなく、この町のことを全然知りませんでした。特に関泉寺やほとんど毎日通っているのに全然知らなかったのので、知ることができて良かったです。



2 総合的な探究  
(1月までの通年・毎水曜日 2h)

① 水と森

【ねらい】七ヶ宿町の自然や産業を体験的に学び、地域への探究心を高めるとともに、自ら主体的に地域社会へ関わろうとする態度を養う。

① NPO法人「水守の郷・七ヶ宿」の海藤節生氏を講師として林業体験。校舎周辺の樹木の枝払い・校舎東側法面の林床整備、剪定等、校舎周辺の環境整備を行い、より良い

① 林業体験では、身体を使うことが好きな生徒が、日頃座学の授業では見られない生き生きした表情を見せ、主体的に活動に参加することができた。

① 以前から長く続けている探究活動であり、ご指導いただいている海藤さんには、ほぼボ



B

	<p>② 自然探求</p> <p>③ 広報</p>	<p>景観を保持しつつ、地域の環境保全に関する探究テーマを深める。</p> <p>② 傾城森へのフィールドワーク 調査内容{風穴の探索、水晶の観察、植生の調査}等</p>  <p>③ 広報 七ヶ宿町ふるさと振興課の広報の担当者へのインタビューや、道の駅しちかしゆくでの街頭アンケート調査など</p>	<p>②宮城県でも珍しい風穴が傾城森にあり、風穴は年間を通して気温が低いので、周囲とは異なる植物が生える場所となり探索。実際に確かめに行くと、体感でも分かるほど、涼しさ(16℃)を感じた。また、傾城森には、岩の隙間に小さな水晶群が観察できる場所があり小さいけれども、花の形や六角柱の水晶を観察することができた。また、傾城森に自生している植物と校舎周辺の植物を比較するために、調査した。最終的な探究発表会では、植生から年間平均気温を割り出すことを検証し発表した。</p> <p>③七ヶ宿町としての広報活動の工夫点や街頭インタビューでの七ヶ宿町の知名度調査などを実施し、今後の七ヶ宿町のアピールポイントなどを生徒目線で考え探究し、発表した。</p>	<p>ランティアとしてお世話になっており、大変感謝している。</p> <p>②初めて立ち上げた探究活動であり、今後は、地域の方とさらに連携した活動ができるようにしていきたいと考えている。生徒主体とすると、事前に計画し予算化することが難しいので、その点でうまく計画を進める必要がある。</p> <p>③今回広報のグループを立ち上げたことで、町づくり株式会社とのパイプができたので、今後はさらに連携を図りつつ、活動内容を広げていきたい。</p>	
<p>3</p>	<p>町や町教委主催行事への参加や町内清掃活動等 (1) わらじで歩こう七ヶ宿(8/27) (2) 24h TV募金ボランティア(8/27)</p>	<p>【ねらい】七ヶ宿町や七ヶ宿町教育委員会主催の各種行事に参加することで、町内高校児童生徒や地域の方の一員としての意識を高め、地域の方との触れ合う体験をもつことで、自ら主体的に地域社会へ関わろうとする態度を養う。</p> <p>(1)は町外の方が多く参加する七ヶ宿町の大きなイベントである。当初1年生を全員参加、2・3年生は、希望者の参加、その他の生徒は行事ボランティアまたは、(2)の</p>	<p>(1) 結果的には、「わらじで歩こう」の行事へ参加希望した生徒が多く、(2)のボランティアには2名(当日欠席もあった)が参</p>		<p>B</p>



<p>(3) 七ヶ宿町 学校音楽祭 (10/31)</p> <p>(4) 七ヶ宿町 学校スキー大会 (2/9)</p> <p>(5) NO!ぼっち 運動</p> <p>(6) 町内清掃活 動 (4/22, 6/23, 9/15)</p>	<p>募金ボランティアを実施すること とした。</p> <p>(3) 初めて全校で合唱という形で参 加し、地域の方の前で校歌を含めた 3曲を発表することができた。</p>  <p>(4) 雪不足のため大会は中止となり 、練習会に変更して実施。</p>  <p>(5) 町教委主催で町の各所との連携 のもとに高齢者単身世帯への児童生 徒からの手紙運動。国語科として参 加。</p> <p>(6) 七ヶ宿校の奉仕活動の時間に町 内のゴミ拾い等清掃活動を実施。</p>	<p>加した。</p> <p>(2) 旬の市七ヶ宿で、社会福祉 協議会の担当の方は町内西山学院 高校生とともに募金活動に参加し た。</p> <p>(3) 初めての取り組みであり、 不登校の生徒が多い中、人前で 歌うことにも抵抗感やハードル を感じている生徒が多い中、概 ねの生徒がよく取り組むことが でき、経験を積むことができた と思う。他の小中学校や高校生 の発表を見る機会も貴重であつ た。また、地域の方に、七ヶ宿 校生徒の様子を見て好評いただき 励ましの言葉をいただいたこと もよかった。</p> <p>(4) 去年は参加できなかったの で、初級の3年生2名を大会出場 するために準備し、七ヶ宿校の みの練習会も実施していたが、 中止となり残念であった。しか し次年度にはつながると思う。</p> <p>(5) 国語科として担当し、全校 27人が手紙を書いた。</p> <p>(6) 4/22、6/23に、中学校から こらっしえ、コンビニ付近、保 育所や役場周辺のゴミ拾いを実 施した。</p>	 <p>(3) 選曲の段階では、生徒会が主と なって準備開始した。練習につい ては、音楽の授業や音楽室もない中 で昼休みを利用して15分間の練習を することは教員にかかる部分も多く、 根気が要ることであるが、2年続け ばなんとか根付いていくのではない かと考える。</p> <p>(4) スキークラブとして臨時に午 後から練習に連れていき、当該生徒 のモチベーションも高かったのでよ かった。練習会のリフト代・交通費 等の費用をPTAの行事補助費から支 出したが、予算については要検討で ある。</p> <p>(5) については、教科担当者任せ になってしまい、校内での周知も不 足いたのが反省点。せっかくの町と 連携した価値ある取組が、教員、生 徒ともにその意義を理解して取り 組めるように改善していきたい。</p> <p>(6) 徒歩移動が基本となるため、 奉仕活動の場所が限られることが難 点である。移動手段の確保と回数を 増やすことが課題である。</p>
--	--	---	--

4	<p>インターンシップ (11/7・8)</p>	<p>【ねらい】七ヶ宿町や白石市にて実際に仕事に従事する体験をとおして、必要なマナーや礼儀作法、「働く」意味やを学び、進路選択の一助とするとともに、社会人として地域社会の一員として主体的に社会へ関わろうとする態度を養う。</p> <p>1年生（選択授業「就業体験」生徒2名）と2年生10名が、11/7・8の2日間インターンシップを実施。 【受入施設・事業所等】 七ヶ宿町高齢者生活福祉センターいこの里様・七ヶ宿町立関保育所様・（株）ミヤギタノイ様・（株）はたけなか製麺様・（株）ヨークベニマル白石店様・医療法人浄仁会大泉記念病院様・イエローハット白石店様・（有）船岡自動車整備工場様・宮城県農業大学校様 12月15日（金）インターンシップ報告会を実施した。</p>	<p>一昨年度初めて実施したインターンシップ発表会も3回目となり、生徒も発表を見聞きしていることから、自らが体験したことをプレゼン発表する発表形態にも馴れてきており、質疑応答に対応できる生徒もまだ少ないながらも出てきた。 また、受入事業所から大泉記念病院様に参加していただいた。「これからは食わず嫌いすることなくどんどん（職場に）行って挑戦してください。」「コミュニケーションが一番大切なことは、笑顔です」等、ご講評いただいた。</p>	<p>今後も七ヶ宿町・白石市を中心とした地域の事業者等の方にご協力をいただき、実施を継続していきたい。</p> 	B
5	<p>&lt;関連事業&gt; みやぎ県民大学 七ヶ宿町の豊かな自然の恵みと親しもう ① すみやのくらし (7/22) ② 地元の土で陶芸 (12/9)</p>			<p>本支援事業には直接的には関係はないが、地域と連携した学校の取組として関連事業として学校便りから抜粋して報告する。週休日に実施していることから、生徒の参加人数は少ないが、今後も取り組みを継続していきたい。</p>	

### みやぎ県民大学 in すみやのくらし

『七ヶ宿町の炭焼き』を7月22日に実施いたしました。  
講師は、七ヶ宿町に伝わる伝統的な炭焼きでの菓子製造などを営んでいる「すみやのくらし」佐藤光夫さん。

まずは山の中に入り水の実験をしながら、森、木がいか  
に自然にとっても人間にとっても大切な役割を果たしている  
かのお話を伺い、山の神様として祀られている場所・パ  
ワー・スポット、炭焼き小屋をご案内いただきました。そして  
薪割り→火おこしを体験。また小屋に戻り、あんずのジュ  
ースとクッキーでゆったりとティータイムを楽しませていただき



ました。自然な暮らしの大切さをさ  
まざまなイベントなどで発信してい  
くためのベースとなる小屋をクラウ  
ドファンディングで400人の方から  
支援をいただき築いたとのこと。七  
ヶ宿町にはたくさんの素敵な場所  
と人がいらっしやる!と実感するひ  
とときを過ごすことができました。大変ありがとうございました!

### みやぎ県民大学学校開放講座 第2回～地元七ヶ宿町 の土で陶芸体験～ 12月9日(土)

←

12月9日(土)、第2回みやぎ県民大学学校開放講  
座を開催しました。場所は、「道の駅七ヶ宿」内にある無限  
陶房さん。10時10分、町民バスにのってきた生徒が到  
着すると、さっそく講習開始。講師の高橋竜也さんのご指  
導のもと、初めての方、2回目の方、3回目の方、それぞれ  
黙々と作業にとりかかりました。今年もキラリと個性が光る  
素敵な作品が出来上がりました。焼き上がりは、年明けと  
のこと、楽しみです!!講師の  
高橋さん、八鍬さん、ありがと  
うございました。←



## 5 事業全体を通じて得られた成果

七ヶ宿校は、昼間定時制高校で、在籍生徒の6割以上が小中学校での不登校を経験している生徒であり、発達障害などの特性を有する生徒も多く在籍している。今年度の在籍数は、1年生9名、2年生11名、3年生7名、合計27名が在籍し、全員が七ヶ宿町外から町民バスを利用して通学している。中には、小・中学時代不登校でありながら、現在、常磐線、東北本線、町民バスと乗り継いで2時間以上をかけ通学している生徒もいるが、入学してからほとんど欠席なく通学できている。学校全体でも2名の休学生徒、1名の長欠生徒以外は、継続的に通学できている。そのような状況からも、七ヶ宿町という人口の少なく、自然豊かな山間に所在している魅力を、地域と連携した多くの教育活動により、伝えることができていると考えている。

## 6 事業全体についての学校としての評価

地域の方々には概ね好意的に学校への協力を惜しまず七ヶ宿校を見守ってくれており、今後も地域の方と対話を大事にして、地域に根ざした教育活動を継続していきたい。公共の交通機関が町民バスである関係上、移動の手段、便数が限られており、本支援事業としては、借り上げバス代等、生徒輸送にかかる使用料として多く割かねばならない事が難点ではあるが、今回の採択により、地域パートナーシップ会議を立ち上げたこともあり、継続的に取り組んでいきたいと考えている。

7 学校の取組及び成果の公表状況

1 ホームページ

2 学校便り等

3 発表会等（発表会等名：総合的な探究発表会・文化祭）

4 その他

令和6年1月26日に体育館で実施した「総合的な探究発表会」において、上記2のと通りの探究グループも含めて発表を行った。関係各所にご案内を送付したが、残念ながら当日の外部からの参観者はなかった。文化祭では、1の七ヶ宿町歴史探訪ツアーについてポスターにて報告した。

【記入上の注意】

- 「1」はテーマA・Bの区別と、事業名を記入してください。
- 「4」の「実施状況」は、生徒の活動の様子がより具体的に分かるように、写真などを入れるなど工夫して作成してください。  
継続して複数年での取組を計画している場合は、「今後の課題」にその旨を記入してください。（次年度の参考資料とします。）「自己評価」は、課題解決に向けたこれまでの取組を、「A（良好）、B（概ね良好）、C（やや不十分）、D（不十分）」で評価してください。
- 「7」は該当する番号に○をつけ、3・4については詳細を記入してください。
- 報告書の枚数は問いません。事業の実施状況が分かるように記入してください。